

## 第34回北陸地方ダム等管理フォローアップ委員会 開催概要

ダムの適切な管理に資することを目的に、北陸地方整備局が管理する7ダムの洪水調節や利水補給の実績、環境調査の結果等について有識者よりご意見を伺う「北陸地方ダム等管理フォローアップ委員会」を平成8年度より毎年開催しています。

今年度は、去る2月2日に委員会を開催し、5年毎に実施する定期報告(対象:手取川ダム・横川ダム)と毎年実施する年次報告(対象:全ダム)の内容について審議頂きました。

■日時 令和5年2月2日(木) 13:30~15:30

■場所 WEB会議方式

### ■委員(名簿)

委員長	辻本 哲郎	(名古屋大学 名誉教授)
委員	池本 良子	(金沢大学 名誉教授)
	関島 恒夫	(新潟大学 教授)
	中田 政司	(富山県中央植物園 園長)
	中村 幸弘	(元・上越市立水族博物館 顧問)
	平林 公男	(信州大学 教授)
	柳原 佐智子	(富山大学 教授)

※中村委員は所用により欠席

### ■議事

- (1) 手取川ダム定期報告書(案)について
- (2) 横川ダム定期報告書(案)について
- (3) 北陸地方ダム年次報告書(案)について



委員会の開催状況(WEB会議画面)

### ■手取川ダム定期報告(案)について

#### 【総括】

平成29年度~令和3年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた手取川ダムの定期報告(案)について、審議され、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、手取川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書については了承された。

#### 【主な意見】

- ・水源地動態に関する今後の方針について、ダム湖の利活用をより一層推進することに取り組むこと
- ・富栄養化レベルが令和3年度初めて中栄養と判定されたため、今後注視が必要である。

### ■横川ダム定期報告(案)について

#### 【総括】

平成29年度~令和3年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた横川ダムの定期報告(案)について、審議され、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、横川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書については了承された。

#### 【主な意見】

- ・水質の評価についてはダム湖としての水質に関する評価と水利用としての評価を分けて記載した方が良い。
- ・特定外来生物について分布拡大防止のための情報発信を行っていることは重要なことである。

### ■北陸地方ダム年次報告書(案)について

#### 【総括】

大石ダム、手取川ダム、大町ダム、大川ダム、三国川ダム、宇奈月ダム、横川ダムの7ダムについて、令和3年度の管理・運用状況をとりまとめた北陸地方ダム年次報告書について、報告された。

#### 【主な意見】

- ・特定外来生物の駆除については、データがあるのであれば全体数に対してどの程度駆除しているかを示した方が良い。